



# 研 修 一 点

## 議会運営委員会

平成17年10月4日～10月6日  
◆北海道 苫小牧市 室蘭市

北海道苫小牧市、同室蘭市へ行政視察を行なった。

現在筑後市議会において、予算を各常任委員会ごとに振り分けて審査を行なっている。しかし、今後市政に対する議会のチェック機能としての機能の強化を図る手法として予算・決算特別委員会の設置事例を視察した。

他に情報公開推進の循環として、議会のインターネット中継についても視察を行なった。

苫小牧市においては正副議長を除く議員全員が「一般会計」と「特別会計を含む企業会計」の2委員会に分かれて審査を行っ



ている。

一方室蘭市議会では13～14人で構成される「一般会計・特別会計」と「企業会計」の2委員会での審査を行なっている。予算については、両市とも3月議会の会期中に特別委員会を設置して審査している。

また、決算については苫小牧市が12月議会の会期中審査であり、室蘭市は9月議会で委員会を設置し、その後継続審査を行なって12月議会で委員長報告が行なわれる。

インターネット中継については、近年近隣でも久留米市・大宰府市・宗像市等が実施しているが、特に室蘭市では「市民操作カメラ」を設置していることは市民の議会への関心を高める手法として多に参考になった。

（「市民操作カメラ」は議会開会中のみホームページに操作ボタンが掲載される）

# 研 修 一 点

## ちくご市議会だより 編集特別委員会

平成17年10月19日～10月20日  
◆鹿児島県 始良町

編集特別委員会は、広報誌を発行し始めて間もないことから、先進地に学び、住民の視点に立った編集を

目指すため、「議会だより」コンクールで実績をもつ鹿児島県始良（あいら）町議会を訪れた。

説明を聞いて、まず驚いたのは、20ページ以上にも及ぶ議会だよりの編集期間が30日程度だということであった。作業はかなりのハードスケジュールで、ときには議事中（考案日）であっても委員会を開き、一日缶詰状態で議論することもあるという。タイムリ



ためには努力は惜しまない姿勢には衝撃を受けた。

また、始良町議会では、その時々の記事をただ載せて完結させるのではなく、「追跡調査」欄を設けている。たとえば、「公園の施設を改善してほしい」という請願が採択されれば、「あの請願は今こうなっている。」という追跡欄を載せるのである。これは、採

択された請願が市政に反映されているかどうかを住民に伝える責任からであると、ともに、編集委員にとっても過去に遡ってその事柄の経緯を理解しないと追跡記事を書けないので、いい勉強になることであった。

このように、常に住民の視点で記事づくりをするために奔走する始良町議会を手本とし、今後の「議会だより」づくりを生かしたい。

始良町ホームページ

<http://www.town.aira-aira.kagoshima.jp/>

## 新議員紹介

山下元生 議員  
（やましたもとお）



去る11月13日の市議会議員補欠選挙で当選され、11月24日に開催された第18回臨時議会で議席の指定（3番）と建設経済委員への選任が決まりました。

## 第18回臨時会報告

失職した弥吉治一郎前議員に替わり、11月24日の臨時会で、永田昌己議員を議会運営委員会委員に、緒方幸治議員を下水道調査対策特別委員会委員に選任しました。また、下水道調査対策特別委員会の委員長に村上知巳議員、副委員長に入部登喜男議員が選出されました。

国立療養所筑後病院跡地問題検討特別委員会は、病院跡地の購入について、市が同病院機構の提示価格で購入しないと決定したため、委員会を廃止しました。

# 編 集 後 記

議会だよりを発刊して第4号となる。創刊して以来出来栄えに満足感を得ている中で、委員会として鹿児島県始良町へ研修視察に行つた。ところがその紙面が、行政に対する議会の役割を町民の目として捉えた議会だよりとなっていて驚かされた。我々も次号辺りから市民の目線で捉えた企画として取り組まねばと考えている。

昨今のわが国の状態は人も企業も社会も倫理観を失い、社会秩序を壊している。そこで我々も議会だよりをさらに充実した紙面として、市民のみならずととのきずなを更に強め、「良識ある」住んでみたい筑後市づくりをしたいと思っている。

## ちくご市議会だより

### 編集特別委員会

- 委員長 貝田 義博
- 副委員長 五十嵐多喜子
- 委員 矢加部 茂晴
- 委員 田中 親彦
- 委員 入部 登喜男
- 委員 水町 好

